

室内おあそび

(十二) 指環さがし

先づ、細長い紐の兩端を結んで圓い環にして、其中に誰かの指環を通して居るので、さて、六七人の人が圓く並んで其紐にすがつて、兩手で絶えず其紐をしごいて、そして、其中の指環を見えない様に次から、次へと送つて居る、探し人は、其紐の真中に這入つて居て、今指環が、この人ならこの人の手に來たと思ふと、不意、其人の兩手を捕へて見る、當つたら、見附けられた人が代つて探し手になるのです。

(十三) 煙管のかぎわて

自分は目を閉て居て誰かに、煙管の雁首でも、吸口でも、真中でも、どこでもいゝから、指でちよ

いと觸らせて、さて目を開けて夫を嗅ぎあてる法がありませす。皆さん御存じですか。

十八

これは別に六ヶしいことも何もないのですが、ただかぎ當てるのに一人相手が居るのです、即ち自分は先づ目を閉ぢて居る、すると誰かが例令ばAちゃんや煙管の吸口なら吹口を觸はるとする、すると夫をBちゃんやが黙つて見て居て、さて、よしといつて、自分が目を開けて嗅ぎ始める、然し、いくら嗅いだつて、ただ夫丈なら分らう筈がないのですが、そこには、ちゃんやとBちゃんやが、手品をして居るのです、よく見ると、Bちゃんや、一本の筆を持つて居て、何気ない風をして、柄の尖をいぢつて居て、今のは吸口だ吸口だと、無言で知らせて居るので夫を見て、自分は、どうもこゝがくさい吸口を觸つたのだと嗅ぎ當るのです。